

平成30年度西区実施プラン 期末報告

平成31年（2019年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定めており、それに沿って計画した各重点取組項目について進めてきました。

これら平成30年度の実施結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

平成31年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

平成31年（2019年）3月31日

西区長 粟崎 寿也

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民だれもが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、区民の自主的な活動を支援しながら、区民が主役のまちづくりを進めていくことが西区の使命です。

◇ 西区の目標・運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく環境・文化芸術・防災の各事業を中心に行うとともに、次の方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。
- ◆ 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民から親しまれ信頼される区役所を目指して、市民感覚を大切に、市民の立場に立って仕事を進めます。

◇ 重点取組項目

- 1 地域と共に進めるまちづくり
- 2 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり
- 3 環境にやさしいまちづくり
- 4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

Ⅱ 重点取組項目

1 地域と共に進めるまちづくり

◇ 地下鉄宮の沢駅周辺のにぎわいを創出

「宮の沢まちづくり協議会」において、宮の沢駅周辺のさらなる活性化や地域の魅力発信を図るため、平成30年12月に「てくてく宮の沢マップ（グルメ編、自然・歴史編）」を作成しました。

◇ 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8カ所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえた様々な事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指します。

八軒まちづくりセンター

地域の力を結集し支え合うまちづくり — 安全安心・見守り・防災—

八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などによる「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を構成し、安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。青パト防犯活動や地域の子どもたちが安全に農試公園を利用するために気をつけてほしい点をマップにまとめ情報発信を行ったほか、地域防災力の向上につながる取組として、防災訓練、避難所運営研修（HUG）、冬の防災DAYイベント、災害対策講演会、防災グッズ展示体験会などを行いました。



農試公園気をつけようマップ
（作成参加者延べ28人）



八軒小での避難所運営研修（HUG）
（参加者41人）



防災グッズ展示体験会
（参加者60人）

琴似二十四軒まちづくりセンター

「まちづくり協議会」の事業をバックアップ

(1) 琴似地区まちづくり協議会

屯田の森の歴史的意義を継承し、若い世代の理解を深め、夏のひとときを地域で楽しむことを目的に「第3回琴似屯田夏まつり」を開催しました。



おまつり会場



琴似屯田音頭

(2) 二十四軒地区まちづくり協議会

子どもたちがダンボールや木材、布類などたくさん用意された道具を使い、自分でやりたいことを決めて自由に遊ぶことができる「プレーパーク」を開催しました。



築山に作られた
ダンボールのコース



木をつかった飾りづくり

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指し、「北海道コンサドーレ札幌の選手・コーチの指導による少年サッカー教室」（参加者 71 人）や「地域の小学校の児童と北海道コンサドーレ札幌の選手との交流会」（小学校 2 校から、計 247 人参加）、「地域の方や地元企業（石屋製菓(株)）の方を講師としたお菓子作り体験会（チョコスイーツを作ろう）」（参加者 38 人）を実施しました。



少年サッカー教室



小学生とコンサドーレとの交流会



お菓子作り体験会

発寒北まちづくりセンター

発寒北地域内一斉環境美化週間「発寒キラキラ7days」

“地域の皆さんと一緒にこのまちをきれいにしたい！”という小中学生の思いから始まった環境美化活動「発寒キラキラ7days」。8年目を迎えた今回は9月26日から実施しましたが、あいにく9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響を受け、学校や町内会など参加を予定していた多くの団体が活動を中止。一部の町内会と保育園が清掃活動を行いました。



余震が心配される中でも清掃活動を行った町内会の皆さん

西野まちづくりセンター

水車のあるまちエコCity 西野

かつて西野米と呼ばれるお米を生産する広大な水田地帯だった西野地区の歴史を子どもたちに伝えるため「水車で地域交流会」を実施し、138人が参加しました。

地域の方から直接、西野の歴史を学んだほか、瓶や棒を使った昔ながらの精米や縄作り、薪割りした木で火をおこし、羽釜を用いた炊飯などの体験活動を行いました。



歴史を学ぶ



精米体験



羽釜で炊飯



全員集合

山の手まちづくりセンター

ネットワークで発揮する“まちづくり力” 支援事業

☆連合町内会を中心とした地域内の連携の拡充

地域内のまちづくり関係団体のネットワーク化支援として、地域住民の交流の活性化、地域の絆の強化によるまちづくり力の向上を目的に実施されている「夏祭り（盆踊り）」や「交流の広場」、「ハロウィン祭り」での山の手商工振興会と山の手連合町内会の連携を支援しました。

また、福祉分野では、新たに地域で介護保険関係事業への取り組みが必要となっている中で、連町福祉部と福祉専門機関（社協・地域包括センター・介護予防センター）

との連携や協力を推進しました。

連町を中心として地域でまちづくりを推進する力が増していることから、引き続き効果的な連携を支援していきます。



夏祭り（盆踊り）



ハロウィン祭り

発寒まちづくりセンター

地球にやさしい街づくりの推進～エコタウンはっさむ

商店街・子ども会・町内会が連携して環境にやさしい取り組みを行う「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」、発寒南小の児童が参加して堆肥となった「落ち葉」を校内の畑で使います。

使用済み天ぷら油をリサイクルして石けんを作る「エコ石けん教室」、やローソクづくりを発寒まちづくりセンター、発寒南小・発寒児童会館で行いました。



拾い集めた落ち葉

八軒中央まちづくりセンター

まちづくり活動団体の紹介本の作成～地域でいきいき活躍入門～

八軒中央地区で活動している町内会をはじめとした様々なまちづくり活動団体を紹介する冊子を作成し、八軒中央地区の全世帯に配布しました。

これによって、新たに地域活動を始めたいと思っている方に参加のきっかけを持っていただくとともに、各団体の活動に対する地域住民の理解を促進し、特に町内会については加入率の向上を図りました。



親しみやすいデザインで活動への参加を後押しします。



町内会活動の意義や大切さを伝え、加入や参加を促します。



町内会以外のまちづくり活動団体も幅広く紹介しています。

◇ 市民や企業等との連携

西区の魅力発信や地域の活性化を図るため、発寒商店街が実施する木工クラフトを活用した取組「手造通（てあるとお）プロジェクト」において、発寒商店街と札幌市立大学デザイン学部との連携を支援しました。

また、西区が舞台となった映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」を活用し、パネル展等を実施したほか、スポーツ感覚で楽しみながら拾ったごみの量を競う「第8回スポ GOMI 大会 in 札幌」（主催：NPO 法人北海道スポーツ GOMI 拾い連盟）では、西のコンサ通り商店会とともに共催として携わり、関係者の連絡調整をサポートし、地域の活性化に向けたネットワークづくりを促進しました。

（映画パネル展：12月23～27日（西区民センター）、1月12～16日（イトーヨーカドー琴似店）、1月31日～2月5日（札幌市生涯学習センターちえりあ・地下鉄琴似駅「西区ギャラリー」）、スポ GOMI 大会：9月22日 48チーム 259人参加）



映画 パネル展



スポ GOMI 大会表彰式

◇ 区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、広報さっぽろや西区ホームページなどで、各地域で行われたさまざまなまちづくり活動を広く紹介しました。



区役所1階ロビーにある掲示板で、地域のまちづくり活動の様子を紹介

◇ 西区花とみどりの回廊づくり

道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりなど、道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を地域住民との協働で行いました。（34団体へ16,990株の花苗を配布）



二十四軒手稲通 (5ペーン通り)



花苗植栽による歩道美化

2 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

◇ 地域の防災力強化

地域の自主防災に関する取組を積極的に支援する「災害に強いまちづくり事業」を八軒中央地区で実施するとともに、8月に「西区防災訓練」を地域住民や関係団体と協働して開催することにより、地域の防災力を高めました。

また、地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を2月に開催し、防災に関する情報の共有、西区における防災対策の推進及び地域住民の安全確保対策を図りました。

〈数値目標〉 西区防災訓練の地域住民参加者数 100人 ⇒ 実績 124人

◇ 地域主体の子育て活動の充実

リニューアルした、こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」などにおいて、利用者のニーズに添い子育てに関する情報提供や相談などを行いました。

地域が主体の子育てサロンの活動や子育てボランティアの活動を支援するとともに、地域における子育て関係機関・団体と連携を図り、安心して子育てできる地域の環境づくりを進めるために「西区地区別子育て情報マップ」の作成や「夏だ！さんかくやまベエまつり」を開催するなど、地域主体の子育て活動の充実を図りました。

〈数値目標〉 こそだてインフォメーション利用者数 10,000人
⇒17,747人

子育てサロンや託児などのボランティア活動参加者数 2,220人
⇒2,512人



夏だ！さんかくやまベエまつり

◇ 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指して、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体やグループの活動を支援し、健康フェアや健康講座、地域のイベントなど、誰もが参加できる健康づくり事業を年60回（※H31.1月末時点）協働で行いました。また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、若い世代のがん検診受診促進のため、地域主催の健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場を活用した啓発を行いました。

〈数値目標〉 地域と協働した健康づくり事業の参加者数 2,600人
⇒実績 3,476人



地域主催の健康フェア



乳幼児健診の場を活用した
がん検診PR



地域主催の健康講座

◇ 介護予防体操の普及

介護予防体操「エコロコ！やまべえ誰でも体操」が地域の方々の手で広まるよう普及員養成講座を開催したほか、介護保険関連施設や医療機関の従事者を対象とした専門職向けの普及員養成講座を開催しました。また、介護予防センターの協力により普及員養成講座の地域開催を新たに2地区で行ったこともあり、普及員数は昨年度から66人増加し346人となりました。

普及員はYOSAKOI等のイベントや各地域の行事、サークルや地域の団体等で、介護予防の必要性や体操の効果を伝えながら体操を普及しています。

その他の活動として、今年度は体操の指導とPRをかねたリーフレットを、普及員を中心としたワーキンググループで制作しました。また、普及員向け研修会では、それぞれの活動を発表し合い交流を深めることで、顔の見える関係から地域のネットワークづくりに発展するなど、普及員の主体的な活動につながっています。

さらに、平成30年度はテレビや雑誌等のメディアからの取材もあり、西区にとどまらず、幅広い地域への普及も進んでいます。

これらのことから、定期的に体操を行う団体に対し配布をしている「やまべえ体操活動ステッカー」の交付は昨年度の19団体から25団体に増加しました。

〈数値目標〉 普及員数 330人⇒実績 346人



普及員養成講座



リーフレット



YOSAKOI ソーラン祭り

◇ 認知症の方や家族への支援

認知症についての各種情報発信を行なうため、区役所2階に認知症情報コーナーを設置しています。認知症情報コーナーでは、必要に応じて保健師が相談対応することで、早期の継続的な支援へと繋がっています。

また、区民を対象とした認知症の理解を深めるための講座と同時に、男性介護者同士が情報交換することができるつどいの場(西区ケア友の会)を年2回開催しました。講座では、介護者からの希望が多い「認知症の方への関わりについて」をテーマとしました。その後の男性介護者のつどいでは、お互いの介護の状況について共有できたことで、参加者からは今後の介護に生かしていきたいという声が聞かれました。

また、地域の方が認知症を正しく理解し見守ることができるように、各地域で認知症サポーター養成講座を実施しています。西区役所でも職員向けに認知症サポーター養成講座を開催し、職員として必要な認知症に関する基礎知識や関係機関との連携の必要性について学びました。

さらに、関係機関で構成する西区地域ケア推進会議では、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて

「**や**さしさ **ま**ごころのあるまち つくる**べ****エ**」というキャッチフレーズを作成し、今後の活動に活用していくこととしました。



認知症の理解を深める講座



認知症サポーター養成講座

3 環境にやさしいまちづくり

◇ 西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動を支援

住民による環境活動が定着・継続・発展するまち(通称「エコまち」)を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活性化を図るとともに、同協議会が実施する活動を支援しました。

(1) 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付しました。

<補助金を活用して実施された主な活動>

◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、
「西区コドモ自然学校」

西区の自然の中で、季節に応じたプログラムを行う自然体験教室を琴似発寒川や五天山公園などで実施しました。

(エコキッズ・プログラム 13 回 1,180 人、親子でエコキッズ・プログラム 2 回 23 組 50 人、西区コドモ自然学校 2 回 33 人参加)



西区コドモ自然学校

◆「親子で環境満喫バスツアー」

親子で市内工場等をめぐり、各施設の省エネやリサイクル等、環境に関する取組みを学ぶ見学バスツアーを開催し、工夫された環境の取組み等に触れる環境啓発を実施しました。(2 回親子 39 組 78 人参加)



省エネ自動販売機について説明
(コカ・コーラ札幌工場)



札幌ドームにてリサイクルの説明

◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」にて、様々な体験を通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント「西区こども環境広場」を西区環境まちづくり協議会の各構成団体と環境サポーター企業の協働により開催しました。

1 階のロビーでは、区内児童が日頃より取り組んでいる環境の取組について発表する「子ども環境活動発表会」や環境に関するミニ講話・ビデオ上映会を実施しました。

(12 月 2 日実施、延べ 1,046 人来場)

(2) 西区環境教育リーダー養成事業

西区の環境活動を担う人材を養成するための講習会を、6 月と 8 月に札幌市生涯学

習センター「ちえりあ」及び平和湖（琴似発寒川上流）で開催し、受講した 12 人を「西区環境教育リーダー」として認定しました。（1日目：プロジェクト WET（※）講座、2日目：水生生物観察会、安全管理講習）

受講者は、講習会で得た知識や経験を活かして、子ども自然学校など区内の子ども向け環境活動にて、ボランティアスタッフとして活動しました。

（2日間、延べ 33 人参加）

次年度以降も西区環境教育リーダーとして活動の場を広げていきます。

※プロジェクト WET（Water Education for Teachers）：グループワークなどを通じて、水や水資源について知識を深める、体験型の水教育プログラム

◇ 琴似発寒川の環境保全推進事業

区内各連合町内会や企業等との協働による琴似発寒川の一斉清掃とやまめの稚魚放流を行いました。ただし、雨の影響で川が増水したことなどにより、かもめ橋を除く 5 会場で子どもたちによる稚魚の放流は中止となりました。

〈数値目標〉 一斉清掃とやまめの稚魚放流参加人数 5,000 人 ⇒ 実績 3,400 人



春の琴似発寒川の一斉清掃の様子

4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

◇ 西区文化フェスタ

2月1日から3月10日までの日程で、ことにパトスをメイン会場としクラシックコンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞など様々なジャンルの芸術文化イベント 17 公演を開催しました。

オープニングイベントは、ちえりあホールを会場に「トビサワールド平成 LAST！」を開催。ギタリスト飛澤良一さん率いる 2 つの異なるユニットがダンサブルなブラジル音楽などを演奏し観客を魅了しました。

また、より身近な場所で芸術文化に触れる機会を提供するため、西野地区センター、はっさむ地区センターでもコンサートを行いました。

〈数値目標〉 来場者アンケートにおける満足度 80%以上⇒ 86%



「トビサワールド平成 LAST！」（2月1日開催）



こどものための音楽会（2月6日開催）

◇ コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅がにぎわう夕方の時間帯に、本格的なジャズを楽しんでもらおうと、札幌在住ジャズボーカリストのデレイナさんや、札幌を代表するサクソ奏者の蛇池雅人さんなどが出演するジャズライブを6月・8月・9月にかけて3回実施しました。

7月14日(土)・15日(日)には、パークジャズライブとの共催で「札幌ジュニアジャズスクールOB・OGバンド」などによるコンサートをことにパトスで開催しました。



コトニジャズ Vol144 (8月30日開催)

◇ コトニ クラシック

地下鉄琴似駅コンコースを会場に、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんによるクラシックコンサートを行いました。当初は、6月・7月・9月の開催を予定していましたが、北海道胆振東部地震の影響により9月6日(木)の開催が中止となりました。しかし、「音楽の力で西区の街を元気にしたい。」と、大平さんから暖

かい申し出をいただき、11月1日(木)に再公演が実施され、多くの観客の皆さまが笑顔に溢れていました。



コトニクラシック Vol23 (再公演 11月1日開催)

また、普段、地下鉄駅に来る機会のない方にも楽しんでいただけるよう、2月には会場を西野地区センターに移し、大平まゆみさん佐藤郁子さんによる、ヴァイオリン2本による座って楽しめるコンサートを実施しました。

〈数値目標〉 コトニ ジャズとコトニ クラシック来場者数 1,500人⇒実績 1,650人

◇ 子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」

小学校の夏休みを利用し、子どもたちが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する「こども・あーと・にしく」。平成30年度は、7月30日(月)に札幌市芸術文化財団との共催により、午前中に、子ども向けのワークショップ「和紙染めでカラフルうちわをつくろう！」の作成、午後からは、芸術の森美術館で「ブリューゲル展・画家一族150年の系譜」を鑑賞しました。

完成したうちわは、はちけん地区センターのアトリウムに装飾し、八軒中央地区の子どもたちが制作した提灯と合わせて会場を鮮やかに彩りました。



和紙染めでカラフルうちわをつくろう



ブリューゲル展の鑑賞